



やりなおしてあいするとき、わたしたちは「あたらしく」なります。



フォコラーレ
focolare.org/japan

みよ、わたしは ばんぶつを あたらしくする
(ヨハネのもくしろく 21・5)



1 がつ、わたしたちは、イエスさまがどうしてこのせかいにきたのかをおもいだしました。それは、みんながなかよくあいしあい、ひとつのおおきななぞくになるためです。これが、イエスさまがおしえてくれた**うれしいしらせ(ふくいん)**です。



かみさまは、いつもわたしたちをあいしてくれています。かみさまは、すべてのものをわたしたちのためにつくりました。ひとがまちがいをして、かみさまはそばにいて、ゆるし、もういちどやりなおすチャンスを与えます。



そして「あたらしく」わたしたちをみてください。イエスさまがおしえてくれたとおり、かみさまのあいは「すべてをあたらしく」して、しよりもつよいのです。



スイスからきたジャネットとアンは、しまいました。あるひ、がっこうのあとでふたりはけんかになりました。ちいさいアンは「へやからでていって!」といわれて、ジャネットのおもちゃをとって、こわしてしまいました。



つぎのひ、ジャネットは、がっこうにいきましたが、かなしくなつて、イエスさまにおねがいました。「おうちにかえったら、アンとなかなかおれできますように。」いえにかえると、ジャネットはアンをよんで、「いっしょにあそぼう!」といいました。アンはとてもうれしそふでした。



いっしょにあそぶのは、とてもたのしいです。ジャネットはしゅくだいをするよりききに、おもちゃをならべてアンにいました。「どれかひとつえらんでいいよ。」アンはよろこんで、ジャネットをだきしめました。ジャネットは、やりなおすちからくれたイエスさまに、ありがとうといいました。